

令和5年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（中部地区） 議事要旨

日 時：令和5年11月29日（水） 10時～11時30分

場 所：中部総合事務所 1号館B棟2階 205会議室

1 議事

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（事務局）

○各海岸のサンドリサイクル実績および短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

＜主な意見＞

○一部で防護面の目安浜幅を下回る箇所はあるが、海岸全体を通して見ると汀線は維持されている。但し天神川右岸地区においては、浜幅が少ない状況が継続しているように見受けられるため、注視が必要である。（鳥取大学 黒岩教授）

＜申し合わせ事項＞

○背後に施設が存在しない箇所の浜幅について、浜幅自体に実際は砂浜ではなく植生箇所などを浜幅として算出している可能性があるため、今後は測量結果などの注視が必要である。（鳥取大学 黒岩教授）

○今後の気候変動に伴う侵食の激化を踏まえ、モニタリングの空白区間を失くせるよう、実施可能な方法について、新技術の活用等も視野に入れ検討する。（事務局）

（2）各管理者からの報告

■中部沿岸における海岸侵食対策の状況（中部総合事務所県土整備局）

○日常的な巡視結果を基に、汀線状況の報告が行われた。また、令和4年度には汀線の大きな前進・後退はなく、引き続きサンドリサイクルによる対策を実施していく旨の説明が行われた。

■北条川放水路における河口閉塞対策検討状況（中部総合事務所県土整備局）

○北条川放水路の河口閉塞対策の検討状況について、報告が行われた。北条川放水路の分水堰倒伏による河口砂州のフラッシュを目的として令和4年度に作成した実証実験計画（案）を基に、令和5年度、計二回の現地実証実験を行った。今後は、北条川放水路に流されている下水道処理水を活用し、河口部に直接放水する実験を実施する予定との説明が行われた。

■令和5年出水期間からの河口砂州の変遷について（国土交通省倉吉河川国道事務所）

○令和5年8月の台風による出水前後の天神川河口砂州の変遷について、空中写真等を用いた状況の報告が行われた。まとまった出水では河口砂州が海域へ流出し、開口部の拡大を創出する傾向が確認されるものの、その後直ぐに閉塞するなど、日々河口砂州が変動している旨の説明があった。

■天神川流砂系総合土砂管理計画に向けて（国土交通省倉吉河川国道事務所）

○天神川流砂系総合土砂管理計画策定に向けた方針等の報告が行われた。令和5年7月に開催された第3回天神川水系土砂管理連絡協議会の中で、技術検討会の必要性についての意見があり、今後策定に向けたスケジュールの見直しを行うことについての説明が行われた。

■台風第7号による海岸漂着物（流木）への対応状況について（事務局）

○令和5年8月に発生した台風第7号の影響により、鳥取沿岸に漂着した流木等の撤去・処分の状況、また予定等について報告が行われた。